

経営比較分析表（令和6年度決算）

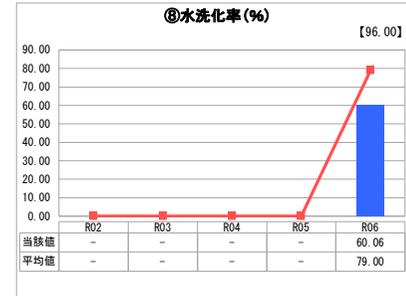
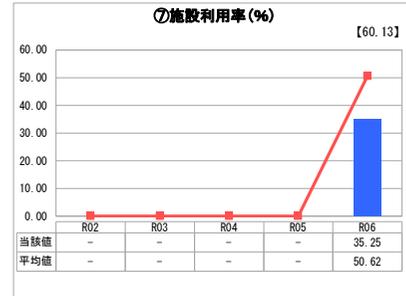
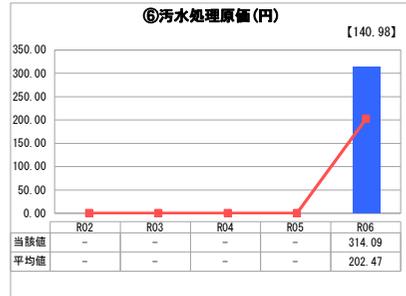
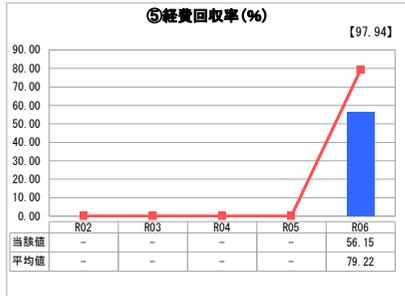
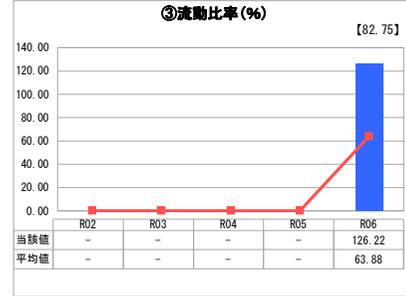
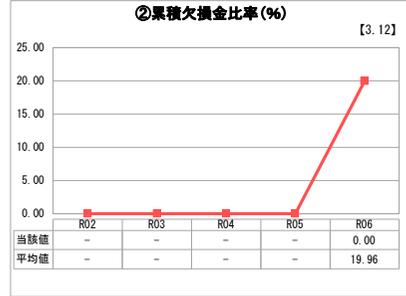
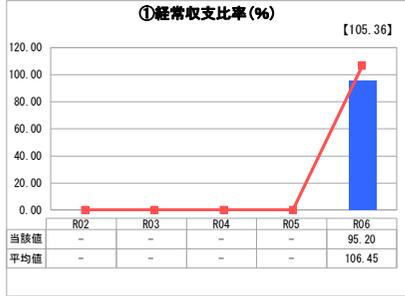
宮城県 三股町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	54.87	52.79	101.29	3,388

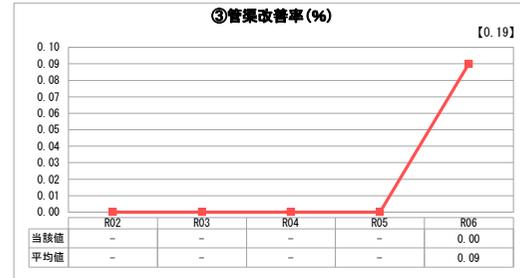
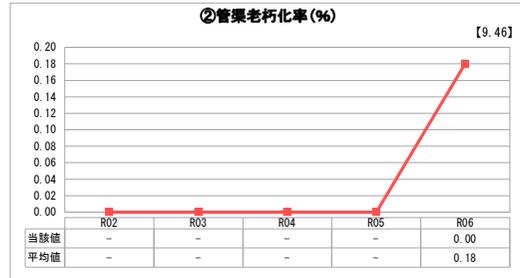
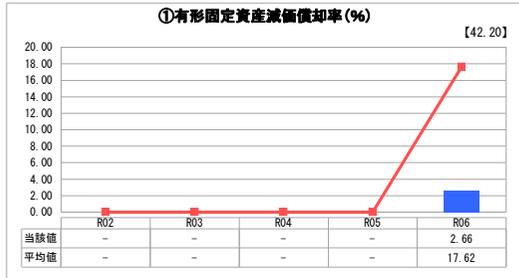
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,684	110.02	233.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,269	3.89	3,411.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町は、令和6年度より法非適から法適用となったため、前年度までの数値が入っておりません。

- ① 経常収支比率
95.20%で100%を下回っておりますが、下水道整備の拡大に伴う接続件数の増加により、使用料収入は増加傾向にあります。今後は、更なる費用削減・使用料確保の取組が必要と考えます。
- ② 流動比率
類似団体平均を上回り100%を超えているが、流動資産の確保に努めていく必要がある。
- ③ 企業債残高対事業規模比率
現在、一般会計繰入金により賄われている状況であり、使用料収入の増加に伴い、起債償還への充当が見込めることから、一般会計繰入金が減少し、企業債比率が改善されたくと予想されます。しかし、当分の間は類似団体の平均値を上回る状況が続くと思われます。
- ④ 経費回収率
類似団体平均を下回っており、更なる使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に努める必要があります。
- ⑤ 汚水処理原価
今後、施設の更新等が予定されていることから、「汚水処理原価」が高くなることと予想されます。そのため、施設の延命化に努める必要があります。
- ⑥ 施設利用率
類似団体平均を下回っており、更なる効率性の向上に努める必要があります。
- ⑦ 水洗化率
現在下水道整備を進めている状況であるため、類似団体との比較では、平均値を下回っており、今後下水道接続に関する相談を増やすなど、更なる接続推進に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

耐用年数を超えている管渠はなく、現時点で必要な改善等はないため、管渠改善率は低い水準となっております。しかし、処理施設については、今後徐々に耐用年数を迎えることから、施設の長寿命化計画を作成し、随時改築・修繕を行っていくことが必要となります。

全体総括

令和6年度に見直しを行っている経営戦略を基に、経営の健全性と効率性を高めるため、水洗化率向上のための対策、汚水処理施設の統合等による効率性向上のための対策が必要です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。